

**z70 組立て 祖素素原稿版**

cz70では、法定速度内30kmでの走行をベースに、特に第一ロットではロードレース用ワークスマシンの経験値を生かしkozaruならではの軽量化設計に挑戦しています。超限定品です。とはいえ試作開発中です。まだまだ作成はじめてです。すみません。

まずは飲み物でも手にとって...

当ページはfaxなどで、部分印刷などに用いています。

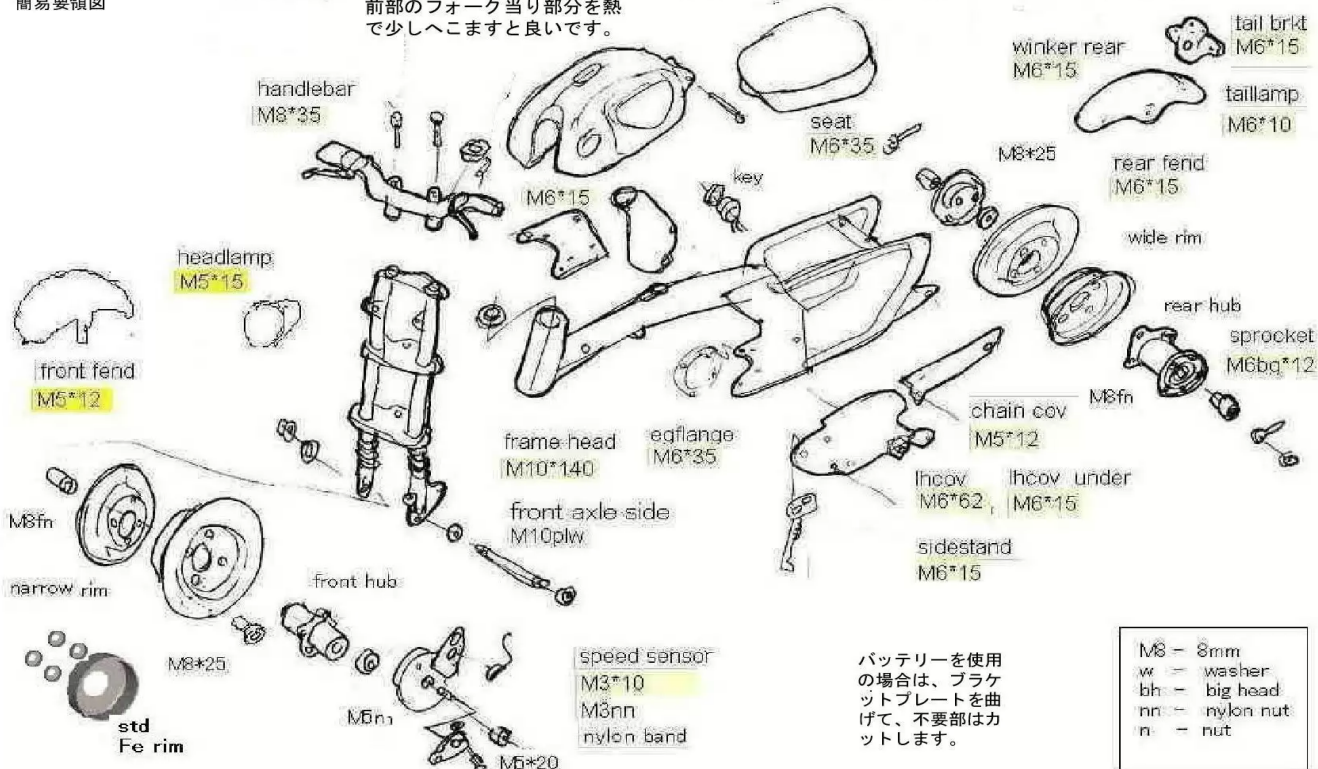
祖画 axle nut(車軸) 部にはM10平ワッシャーを使用してください。 Cp クロームめっき nn ナイロンナット plw 平ワッシャー

[www.kozaru.us/cz/asyprint.html](http://www.kozaru.us/cz/asyprint.html)

簡易要領図

タンクは切り出します。なるべく後ろにセット。前部のフォーク当り部分を熱で少しへこませると良いです。

シートステーは中央部でカット、後部は代替プレートで位置を変え、シート位置をなるべく後ろにセットしてください。



**事前情報**

- 下ごしらえ タップ通しをしておくとな楽な部分。
- 1 ワイヤ受けスクリュー \*フロントフォーク下部 \*リヤブレーキブラケット M6タップしておくか、先にスクリューをつけておきます
- 2 ハンドルパイプ取り付け; M8ネジ部-ネジとうし。パイプはめ合い部、塗膜の除去をしてください。1,2とも塗装膜圧が厚くしてある為です。
- ホイール:  
ホイールは、バラです。(ベアリングは入っています)丁寧に、確実に、精度調整を考慮しながら組んでください。
- ブレーキパネル:  
ブレーキパネルは、仮組みしてありますが、確認しながら組んでください。
- 指が太い場合は、ラジペンとか、頭を使ってください。
- 残念ながら、パーツグレープは、梱包のため一部すでにカットしてありますがお許しください。また、パーツグレープのカットはZ31Aより楽になってしまいました、特にプラモファン系の方には申し訳ありません。
- すべての部品は、いったん仮組みの後本組みにするのは当然としています。こうして試作車を組立てる気分を一度味わってください。
- アクスルの両端はナット式にしたままです。抜き差しは工夫で、組見やすくしてあります。通常ボルトよりも高いコストで、このために買った方式で、トーハツランベットの少年時代の体験をいかしています。
- ほとんどの部品はCZ70では専用にしてあり大赤字です。この機種では特に、あまりいじめないでください。再生産は不可能でしょうね。
- ブレーキケーブルのホイール側には太鼓カバー(黒)が付いていますが、外して下さい。
- スピードメーター用マグネットをフロントホイール側に取付けます。ドラム自体の寸法はマグネット穴以外は前後共通です。
- タイヤの向きは合わせた方が綺麗です。
- チューブががままないように、チューブ(チューブがフニョフニョになるくらい)に、少しだけ空気を入れてから組んでいきます。
- 組立てたときにチューブが噛んでいないか良く確認してから空気を入れます。

- ブレーキドラム、リム、インナーハブ(フロント)、ドリブンハブ(リヤ)は、それぞれ正しく組み締まっているかなど、作業をよく確認し、不安があれば、組みなおすなどしてください。
- CZ62ではエンジンの右プレートとフレームの間に上下にM6ワッシャー積層品を使用してください。(8ミリほどですので8枚)

### パーツグレーブからの部品の切り出し

パーツグレーブを大きく、切り出しましたら、部品化していきます。  
フェンダーはスジ通りに切ってください。多少大きめでも組んだあとでも加工は出来ます。

工具は鉄ノコの歯や、カッターを使って切り出します。

前後フェンダー、タンクカバーを切り出し、後に丁寧に仕上げてください。  
残ったプラ材の一部はあとで役に立つかもしれませんので、保存出来れば良いと思います。

#### フロントフェンダー取り付け

フェンダーなしで、ホイールの組み付け組み立てを確認したら、ホイールをはずして、フェンダーをつける。  
フェンダーの取付部は、上側はM5平ワッシャーをフェンダーとフォークの間に各2枚入れてください。

リヤフェンダー取付けでは少しフェンダーを開くようになっています。

タンク取り付けは、あとの工程でも大丈夫です。説明のため組んだ画像です。

○ タンク相当形状部は、画像のように、該当部の谷でまずカットします。プラカッターやノコ歯がいいと思います。  
この位置は、パイプとのピタリ線になっています。



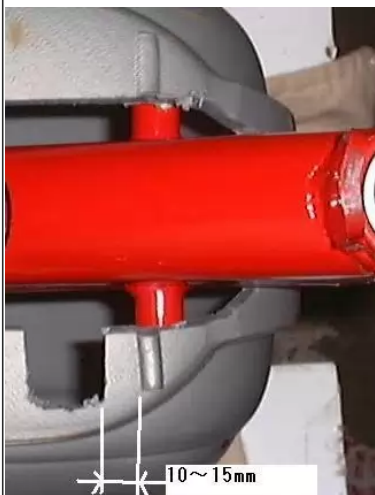
なお、タンク上部の円中部は

プライヤーなどで口を広げ、キャップが抜けないようにします。シリコンシーラーなどで接着してください。もし、将来金属タンクが出現したときは、このキャップを利用してください。(画像追加)  
タンクカバーの前はフレームのパイプで押さえるようになっています、

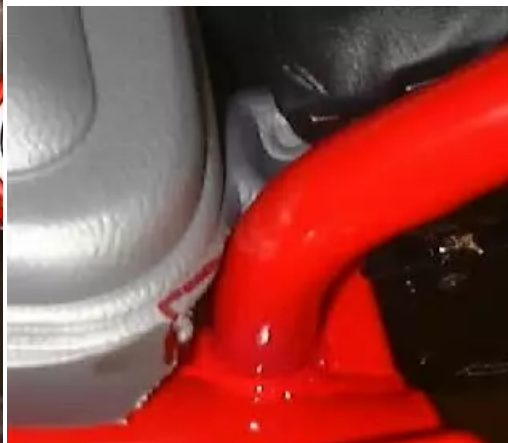


タンク前部はフレーム上部、フロントフォークと当たる部分があります。完全に組立て後、位置を決めて、該当部をライターなどで熱してへこますなどしてください。スタイルを追いついた結果です申し訳ありません。

タンクカバーの左前下の切欠きは頑張れば、エンジンを載せていなければ、特に切らなくても取り付けられます。プラスチックの柔軟性を利用して取り付けられているのですが、画像のように一部だけカットすれば、より取り付け易くなりますワイヤーなどの処理用空間にもなります。カットする場合はパイプ受けの下図のふくらみを目安にします。



取付けには指が活躍します。

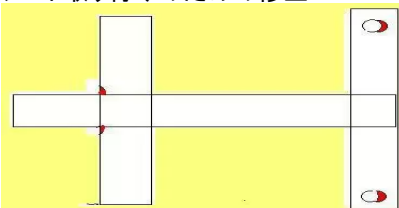


後ろ側は画像のようにカットします。フレームパイプ部との部分を狙ってカットします。プラ製で柔軟性があるので、いきなり大きく取らないで、合わせながらのほうが良い感じに組上がります。

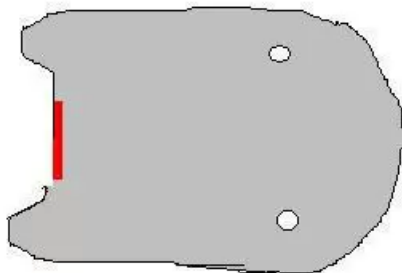
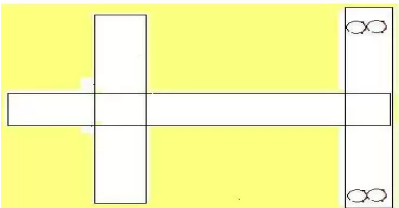
(画像を参考にし、切り過ぎないようにしてください)

カットが終了したら、シートで押さえ込みますが、ナイロンバンドなどでフレーム後部に取り付けてください。

### シート取り付けのための修正



シートも欲張りすぎてギチギチになってしまいました。  
① ステーをシートからはずして、ステープレートの穴と前側をやすりで修正してください。  
② シート前端を表皮をそうとはがして、削るか切り取ってください。申し訳ありません。第2ロット生産が有る場合はでは修正します。



tpcolff.jpg (4832 バイト)

### フロントフォーク取り付け

ヘッドパイプ上のアルミのカラーは、フォークがどうしてもヘッドパイプに組めない時には、当カラーの小径部を削って合わせるようにしてください。(それもあってアルミにしました。)

### ホイール自体を丁寧に組立てます

front wheel ; center-hub [inhubfr.jpg \(16900 バイト\)](#) フロントセンターハブは下図を参考に ハメアイ部の塗料を上ヤスリなどで取ってください。(塗料厚のためです)



ホイールはカラーがブレーキパネルの内側にも使用しますので、画像を参考に組立ててください。

なお、このカラーを0.5ミリ薄くすると、より綺麗に組むことが出来ますが、パネルとドラムのクリアランスが小さいので、より丁寧に組む必要があります。

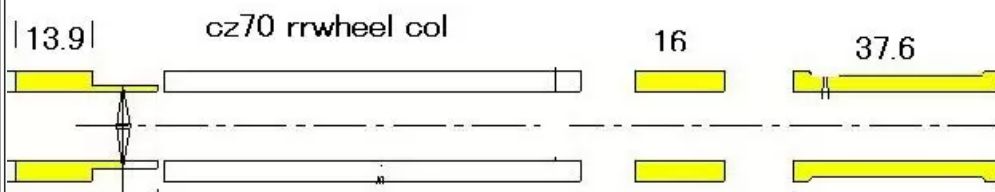
フロントの部品の順序は図の通りです。

ブレーキパネルは フロントとリヤはブラケット形状が異なりますので、見分けてください。



リヤの部品の順序は図の通りです。

画像はオプションのアルミハブで表示してあります。



リヤホイールのハブは標準のときはカラーを段付き部分をカットします。推奨のオプションのアルミ削出しハブでは段付きカラーはそのまま使います。オプションのハブベアリング内径は標準より大きくしてあるからです。ベアリングは仮圧入ですので、**ベアリングの入りを確認**してください。  
 カラー16ミリは14.5ミリに削って組むとベストになります。

ホイールをフレームに組むときの要領の一例

実は慣れると、全くこんな方法を取らなくても出来る事がわかりましたが、手こずる時は下記のように。

8cmくらい軸のあるドライバーかシャフトを、2本用意し、アクスルの代わりに使用すると組立てが簡単です。(この例ではドライバーを使用しています。)あるいは、フロントアクスルシャフトを利用して、全てのカラーをどうして、フレームにホイール全体で挿しこんだ後、リアアクスルと入れ換えるのも良い方法です。

- 画像のように、右端に入るカラー以外をセットにして、パネル内側のカラーが落ちないようにドライバーなどをを利用して車体に仮にリセットします。(右が少し下にある点に留意してください)

- 次いでブレーキパネルブラケットをフレームに差込みます。



● この時点でチェンをホイールにくぐらします。あるいは先にハブにテープなどで傷つかないようにして仮止めしておくのも良い方法です。

● 左からドライバーなどを挿します。このとき右のドライバーと先端が当たるような感じで、カラーを落とさないようにします。



ドライバー等の細い棒

ブレーキパネル内のカラーを落とさないようにドライバー等の細い棒を利用して組立慣れると無しで出来ます

● 右側

のホイールカラーをセットします。ホイールカラーの端面を少し面取りしておくのと組みやすくなります。

- 右からアクスルシャフトを入れるようにしていきます
- アクスルシャフトはヘッドレスにして有りますので、アクスルを左右抜きながらやるなどの工夫で組みやすくなります。慣れるとこんな方法でなくても簡単にできるようになります。
- 走行が多い方は鉄製ドラムを装着してください。(オプションです。別記。)
- フロントも同じようにドライバーなどを利用するとやりやすいです

ワイヤー調整とレバー位置調整

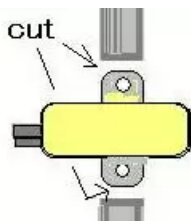
ブレーキシューは減りが早いので、走行系の方は、走行用 アルミブレーキアーム(OP)を使用してください。将来走行耐久用のシューを物色中ですが、アルミブレーキアームはブレーキ入力を落としているので、少し減りが遅くなっています。

アームの取付け構造はセレーションタイプですので、ブレーキシューの減りに合わせて、位置変更が出来ますが、位置変更したばあいは、作動時の部品同士の干渉で、ブレーキが利かなくなる事のないよう気をつけてください。走行前には必ず作動範囲、効き具合など、確認してお使いください。

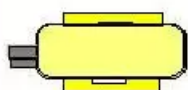
タイヤは、走行用タイヤがオプションで準備してあります。走行主体になるのでしたら交換してください。その場合、フロントはアルミリムと調整カラーを使用すると走行感覚向上するとともに、組立てが少しは楽になります。

ブレーキパネルの組立 と ●ブレーキの調整

ブレーキはczでは大型化し、とてもよく効くようになりました。反面ブレーキシューの減りが早いので、走行して、遊びが増えてきたら、アジャストが必要です。ブレーキ入力比の変更と、より減りにくいシュー、ドラムを、オプションで用意してあります。高価ですので気が引けます。申し訳ありません。



スピードメーターのセンサーは画像の `hole sns` 部にセンサーを外側から取付けてください。画像のパネルはフロント用です。3ミリでビス止め(上図)、あるいはナイロンバンド(下図)で取り付けてください。走行により外れないように注意してください。



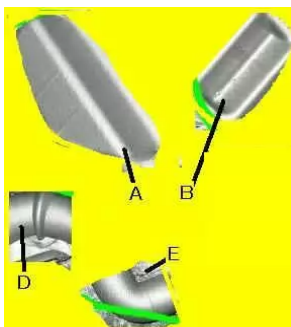
bolt は溝に合わせてください。

走行用には、オプションのアルミ削りだしブレーキレバーを装着してください。

走行により遊びが増えますので、レバー位置の変更用などの工具を携帯して、調整してください。



怒られちゃうかもしれないけど、ためにしに パーツグレープの仕上げ順を買ってみた。このほうが手で仕上げるにはやりやすいです。  
\* 赤点部は残しておき、フェンダーは切出す前がある程度仕上げしておく（仕上げが出来てから、切りはずします。）



いらぬ品のように見えますが、CZ70 で使う場合はABはバッテリーのコーナーのガードに、DEはエアクリナーなどのジョイントエルボに使う素材です。



この部分は 大変ですので、やらなくても大丈夫です。エアクリナーケースの上側のふたの車体中心側の下側をカットするとやりやすい。あるいはpe部品を左図の部分のようにカットして組んでください。  
超大変ですがこのようなのが出来ました

らお知らせください。変ですが

#### cz70 事前情報 -の1-

●ところで、CZ70では、Z31A とエンジンが異なりますが、Z31A エンジンでの出荷もオーダーにより可能なように設計してあります。ちょっとブラケットの加工費が加わりますが、ないわけではありません。またブラケットには、基準穴がもうけてありますので、しこしこやればあとで乗せ換えも出来るようになっています。後は、あとで書きます。Sorry!!



●燃料タンクは一部、ドライバーかライターでのへこ変形が必要です。そのためにフレーム寸法を譲りたくなかったのです。たいした作業ではないですが。



ガソリンタンク内でのフィルター位置が下までつくように、細いパイプなどで延長してください。

配線 電気関係 627ed 配線色追記修正

ここではcz.70系のLED式ウィンカーランプを使用した場合を記しています。一体全体なにがどうなっているのか？ 予備知識。作業前に読んでください。

プレミアム仕様について記載します。ベーシックモデルでは自作あるいは、OPを活用してください。

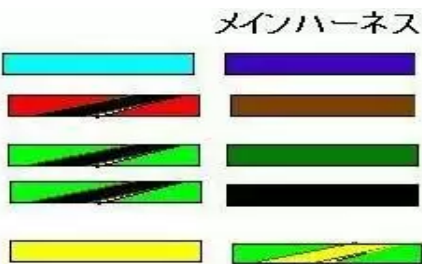
- 左側スイッチのボタンswは、標準のホーンを使うときには機能しません。あとで何か別モデルの12Vのーンを使用したくなった場合には、ホーンスイッチとして、使えるよう、配線が設定しました。
- 右側スイッチのボタンswは、エンジンキルス イッチとして使う設定です

- ヘッドライト内のアース用端子(緑)は端子を普通 サイズのダブルにつけ変えてください。こうすることで配線をヘッドライトにすこしでも収め、ワイヤーハーネスの処理をまとめる努力をしました。

- ハーネス色は、なるべく色は合わせましたが、一部同系色などを使用しています。  
メイン ハーネスの結

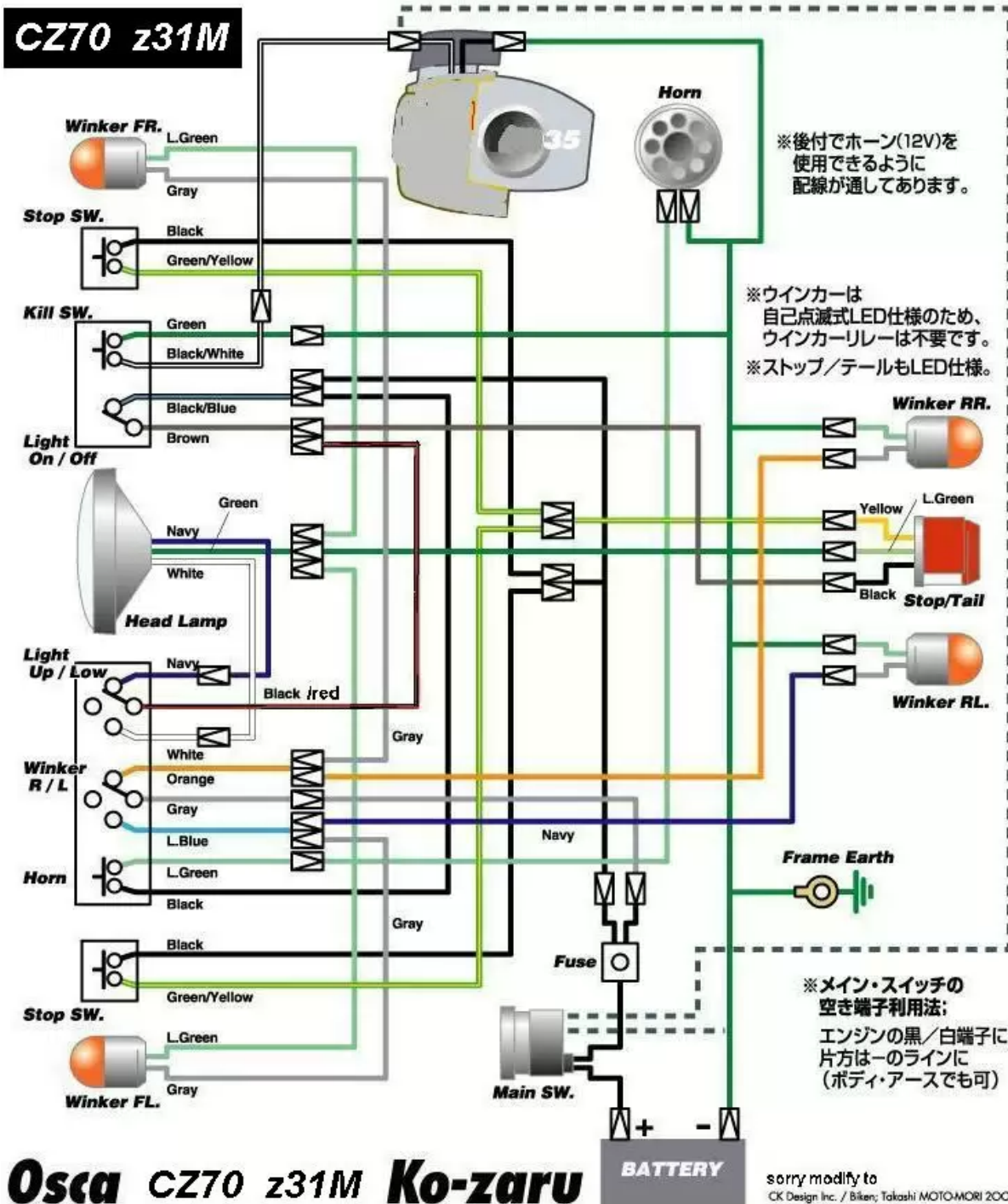
線のとき留意してください。

スイッチ右の水色の同系色は青に結線  
 スイッチ左右の赤黒の同系色は茶に結線  
 スイッチ右の緑黒は緑に結線  
 スイッチ左の緑黒は黒に結線  
 テールランプの黄色は緑黄色に結線



●ウィンカーは、右が水色系(あるいは青使用)、左がオレンジ系と考えてください。ウィンカーランプのグレーリード線先端を同色でマーキングしておくとう分かりやすいです。

- 1 ヘッドランプ内のグリーン端子は、同梱のダブルのメスに付け替えてください。グリーンはアースです。
- 2 ウィンカー自体での色は、薄グリーンがアースに、灰色がプラスになります。これがスイッチからのRLの線(オレンジ水色につながります)(メインハーネスでは水色代わりに青色になっています) 極性を確かめて使用してください。頭痛のことを、headache、フランス語ではマララテット といいます。



時間無く 暫定です。ショートに注意してください。ヒューズをバッテリーとスイッチの間に入れる方法もありそうです。メインスイッチも配線追加でエンジンキルにも使えます。

---お詫び 設計屋は考えすぎた。

メインハーネスについて、

- 1 ホーンをいつか何かのバイクをつける人がいたらかと思って、若草色の線を入れてしまった
- 2 Z31Aのことや、ウinkerがLEDでないときの事も考え、ウinker専用電源グレーを入れてしまった(X35-2にて廃止)
- 3 色がまだ合わせきれない。メインハーネスの青は水色と考えると結線。(実は少量手配のためメーカーが動かさきれない。資金切れが近いらしいこともあるらしい。)
- 4 メインスイッチの延長赤線オス端子はメインスイッチの側の赤オス端子とつないでください。(ヘッドライトの端子交換で出たメス端子に'ダブルはめ'でOKです。)
- 5 配線ミスなどでヒューズが飛ばないように確認して、進めてください。

● バッテリーについて

LEDウinkerではバッテリーをLONG社製の WP1.5-12(12V-1.5AH)が使えるようにしてあります。

小型低価格ということで、良いかと思えます。お求めは秋葉原の秋月電子で通信販売もしていて、充電器キットもあるようです。

WP1.5-12



[完全密封型鉛蓄電池 \(12V 1.5Ah\) リンク先が掲載が多いのでお間違えないように...](#) b-00017

● ただ、別にそれでなくても、アルカリ乾電池(ラジコン等で使用)とか、似たようなもので、とにかく12Vにしてやれば、ウinkerがLEDになってますので、消費電力も少ないので、作動するはず。遊んで欲しい部分です

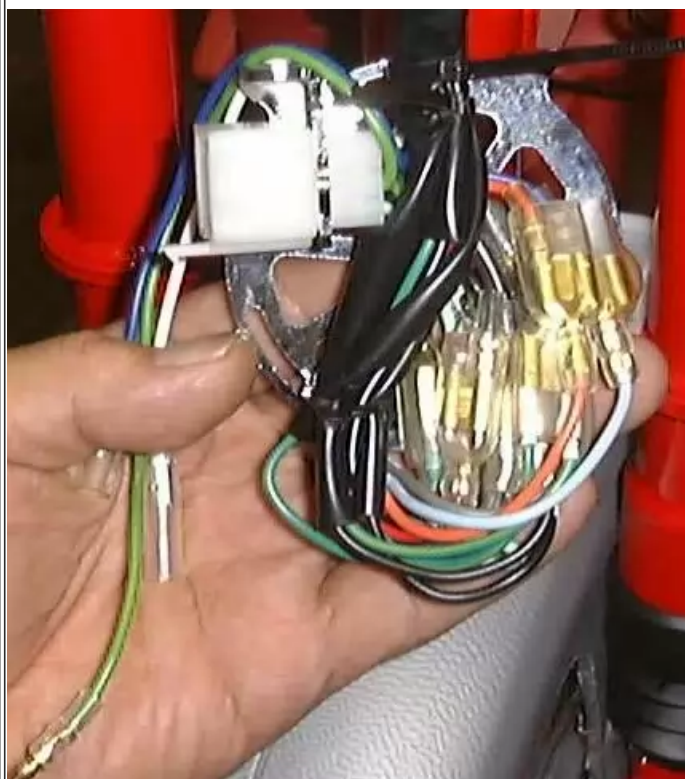
バッテリーブラケットは展開形状になっています。

プライヤーなどで丁寧に曲げてください。



バッテリーブラケットは、プレートをプライヤーなどで丁寧に曲げて作成してください。画像のようにします。

ステーの先端が曲げてとめるように長くしましたが、カットしてネジ止めるのもいいと思います。



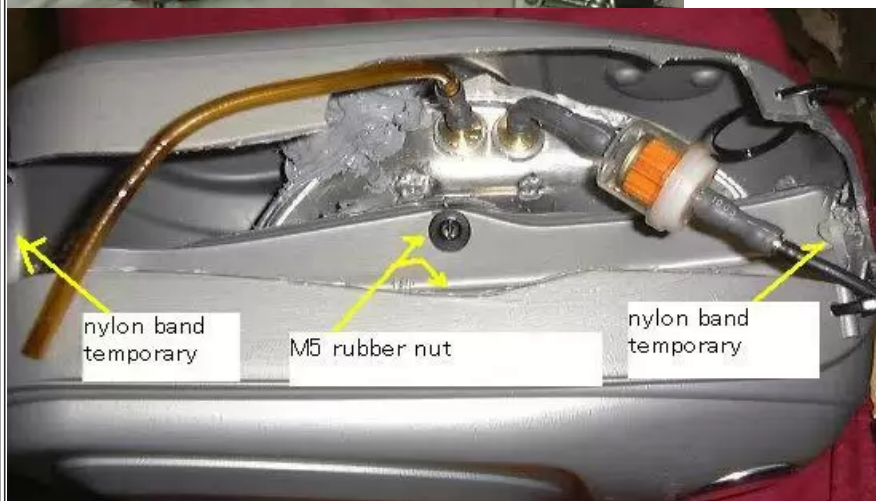
ハーネスの前はフロントエレックプレートを利用して、まとめ込みます。ポイントは 'の' の字のように、まとめる。中央にまとめるハンドルからの線。組んだときハンドルの動作に支障がない。



ウinkerのブラケット、配線処理参考画像

仔猿 タンク まずは画像のみで失礼。アルミタンクを入れるためには50ミリの穴を開ける方法  
タンクを塗るにはこれがいいかも  
下の画像はアルミタンクの一部を見えるようにしたもののだが。お好きなのはどちら





タンクの押さえをこの例ではパーツグレープの切り出し片を利用してやってみました。アルミ板などを使ってもいいかと思えます。



H/ジュラ削出し展示用ノブ  
¥4,800- ×2



CZの素敵なみにカタログもご覧ください。